

# 電 力 情 報

NO. 48

平成 22 年 8 月 25 日  
東 北 電 力 ( 株 )

## 7 月分の電力需給実績について

### 1. 電力需要について (表 - 1 参照)

7 月分の販売電力量は、66 億 1,100 万 kWh、対前年比 107.2% の実績となりました。これを用途別にみますと、以下のとおりです。

#### 特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、気温が高い日が続き記録的な暑さになったことから、冷房需要の増加などにより、対前年比 104.6% と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 104.7% の実績となりました。

#### 特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、気温が高い日が続き記録的な暑さになったことから、冷房需要の増加などにより、対前年比 105.0% と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 108.4% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

### [ 参 考 ]

#### 大口電力

大口電力は、生産回復の動きに加え、平成 21 年 7 月分が大きく前年実績を下回った反動などから、対前年比 110.5% の実績となり、8 カ月連続で前年実績を上回りました。

## 2. 供給力について（表 - 2 参照）

7月の発受電電力量の合計は78億3,600万kWhとなり、対前年比108.7%の実績となりました。

### （自社水力）

降水量が多かったことから、出水率108.7%の豊水となりました。

発電量は、前年を1億5,600万kWh上回る8億1,200万kWhとなりました。

### （自社火力）

原子力の発電量の増加などにより、発電量は前年を10億6,200万kWh下回る30億6,500万kWhとなりました。

### （自社原子力）

前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を5億2,600万kWh上回る21億8,300万kWhとなりました。

### （自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を3,500万kWh下回る6,500万kWhとなりました。

### （他社受電）

火力の受電量が増加したことなどにより、他社受電合計では前年を1億4,200万kWh上回る19億7,300万kWhとなりました。

電気関係報告規則等の一部を改正する省令（平成22年3月31日 経済産業省令第20号）により、発電量等に関する国への報告様式が変更になり、新エネルギー等（風力、太陽光および地熱）の発電量は別掲することとなりました。これにあわせ、当社の報道発表資料につきましても、地熱発電の発電量を「自社新エネルギー等」として別記しております。

以 上